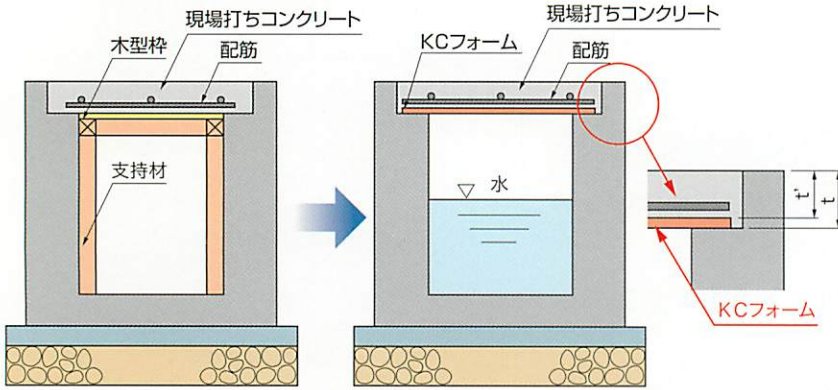


KCフォームを置くだけで施工可能



在来工法

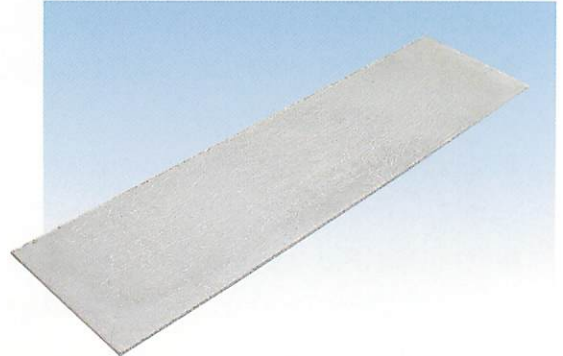
KCフォーム工法(例)

建設技術審査証明により、KCフォームでは「t」までをコンクリート厚と見なしますが審査証明のない製品では「t」までしかコンクリート厚と見なされません。

KCフォーム

NETIS登録番号(QS-980217-V)

溝幅250mm~600mmの側溝に対応します。



※施工時は表面のざらついた面が上となるように敷設してください。製品に直接乗らないでください。

■寸法・重量表

呼称	W	t(※)	L	参考重量(kg)	参考歩掛(人/m)
250用	340	6	1000	4.4	0.0026
300用	390	6	1000	5.0	
350用	440	8	1000	7.6	0.0035
400用	490	8	1000	8.4	
450用	540	10	1000	11.6	0.007
500用	590	10	1000	12.6	
550用	640	13	1000	17.8	0.014
600用	690	13	1000	19.2	

※tは標準板厚です。

※Wは敷設時の両側掛りしろをそれぞれ45mmに設定しています。

■蓋厚・側溝幅によるKCフォームの適用厚さ一覧表 (mm)

蓋厚	側溝幅									
	250	300	350	400	450	500	550	600		
100	6	6	8	8	10	10	13	13		
110	6	6	8	8	10	10	13	13		
120	6	6	8	8	10	10	13	13		
130	6	6	8	8	10	10	13	13		
140	6	8	8	10	10	13	13	13		
150	6	8	8	10	10	13	13	13		
160	6	8	8	10	10	13	13			
170	8	8	8	10	10	13	13			
180	8	8	8	10	13	13	13			
190	8	8	10	10	13	13				
200	8	8	10	10	13	13				

KCフォームの標準板厚

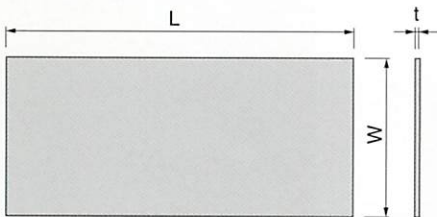
建設技術審査証明書交付商品

本製品は、建設技術審査証明協議会会員である財団法人土木研究センターの「建設技術審査証明事業(土木系材料・製品・技術)」の技術審査を受け、建設技術審査証明書の交付を受けています。



建設技術審査証明事業
(土木系材料・製品・技術)
(財)土木研究センター
建技審証第0329号

形状・寸法



施工前 → 施工後

